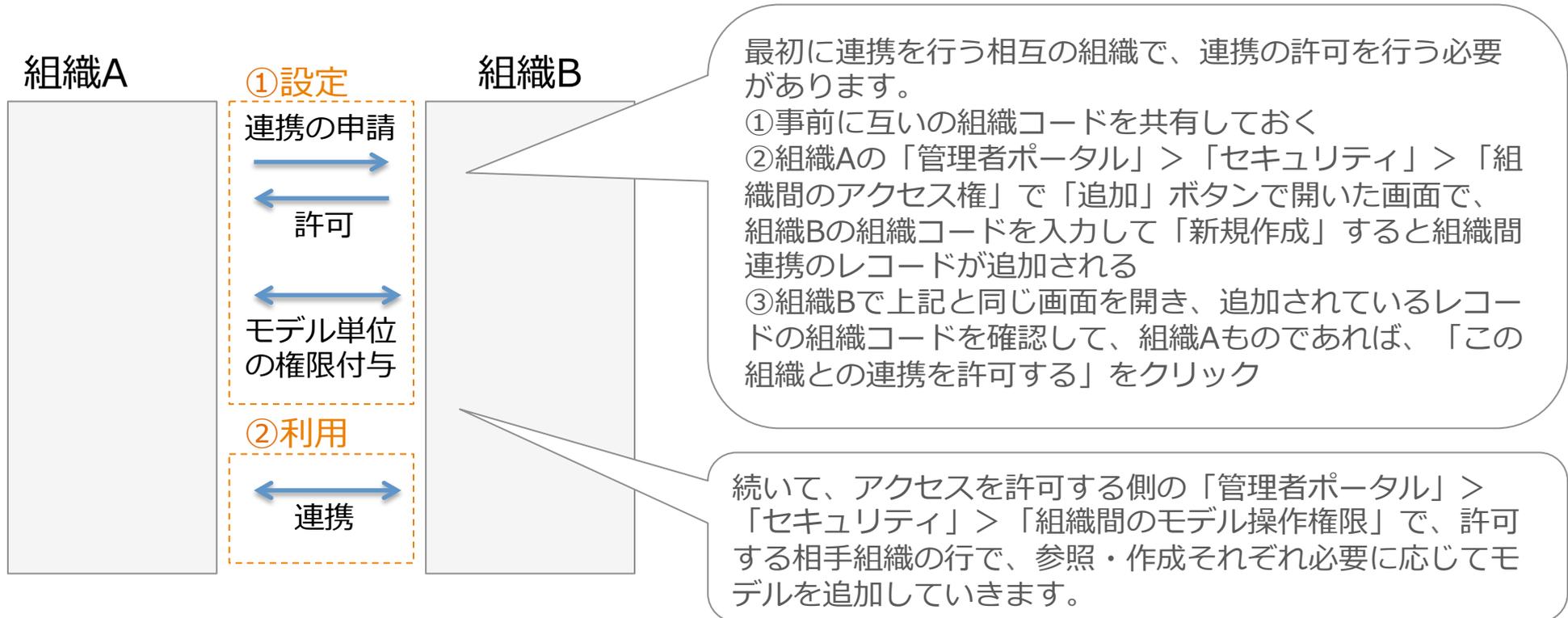


別アカウント（組織）間の連携機能

NuFactory

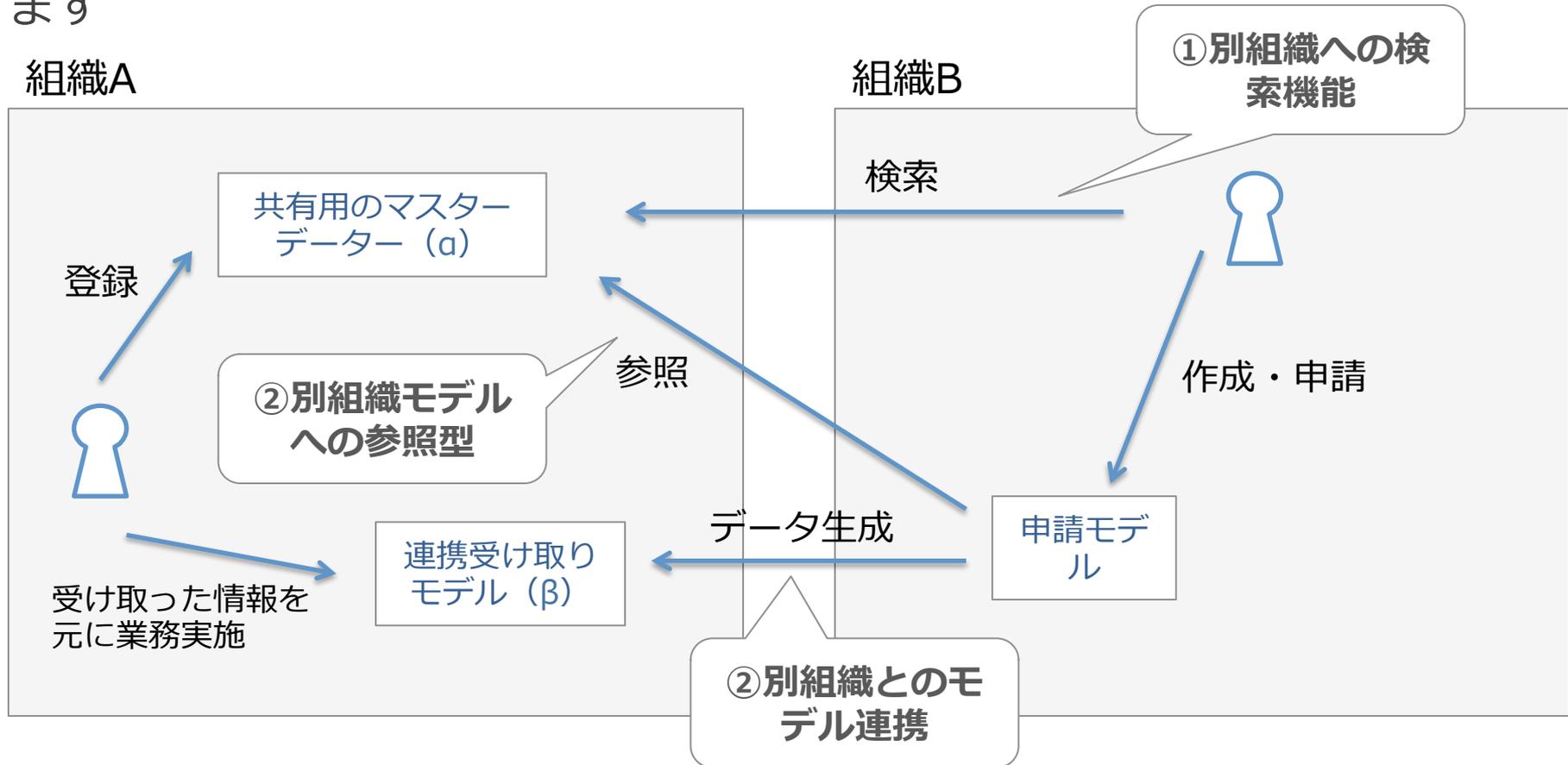
他組織との連携機能の概要

- NuAppでは通常、組織コード毎のプライベートな環境において、組織内のユーザー間でデータ等を共有しています
- 他の組織コードで管理されている別環境と部分的にデータをやり取りするための機能が、他組織との連携機能です



連携機能と利用シナリオ

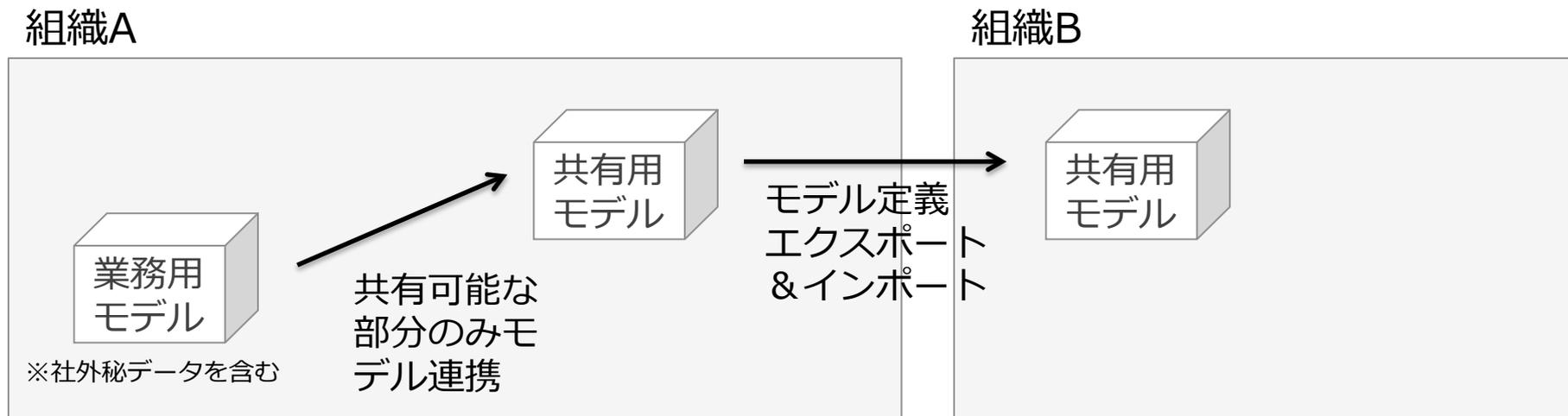
- 共有されたデータを検索するだけでなく、組織を跨いだ業務フローも実現できます



※ この場合、組織AからBへモデルaの参照権限、モデルβの作成権限を付与する必要があります

連携の条件と作成上の注意点

- 双方の組織で同一のモデル（モデルID及び設定内容）のみ連携可能です
- 通常は、権限を付与する組織側で作成したモデルをエクスポート、利用する側の組織にインポートする流れになります
- 共有されたモデルは定義を公開することになり、参照権限があれば全てのデータを見ることができます
- そのため、リアルなマスターデータや業務データを共有するというよりは、共有専用モデルを設け、モデル連携等を使い共有可能な範囲でコピーする、という運用が推奨されます（もちろん実際の利用シナリオに応じて、こうした事情は変わってきます）



モデル・アプリの設定方法

- 具体的な設定方法は以下の通りです
 - 別組織への検索
 - アプリ設定で、「他組織検索」を選択
 - 別組織モデルへの参照型
 - モデル設定のデータ項目で「他組織参照型」を選択
※現状は組織コード固定での参照のみに対応しています（2020/1/24時点）
 - 別組織とのモデル連携
 - モデル設定のプロセス設定にて、「モデル連携」を配置の上、連携タイプ「別組織への」アクセスを使用
 - 別組織のデータを作成する前に、方向「別組織へ変更」を使い、データ操作が完了後に、方向「自組織に戻す」を使う。
1つのモデル連携で複数の処理を「連携処理を追加」ボタンで追加できるので、一連の流れで設定する
※連携用のモデルを作った上で、その中に上記の設定でモデル連携を設置することで、別組織にデータを生成可能